

可茂県事務所 振興防災課
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
家庭教育推進専門職 安田

ワーク・ライフ・バランス思考で、
楽しく豊かな子育てを！

令和7年度
8月号 No. 5

いいかも



令和7年度可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ～泣いて、笑って、ともに歩もう～



「いいかも」
こちらから



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

各地区で生き生きと活動中

みのかも健康プラザ 子育て支援課主催の学習会
講演会型＋子育てサロン型 ～家族の大切さ～

美濃加茂市 子育て学習会 「ノーバディズ・パーフェクト」

ノーバディズ・パーフェクト（NP）プログラムとは「完璧な親はいない」という意味のカナダ生まれの親応援プログラムです。お母さん方が日ごろ感じている悩みや関心のあることで（子育て、自分のこと、家族のこと）をグループで話す参加者中心の全6回講座です。子育て中の仲間と経験やアイデアを分かち合いましょう！（ホームページ掲載チラシより）

開催日時：令和7年7月22日（火）
9時30分～11時30分

場所：みのかも健康プラザ 研修室

参加者：保護者 8名

※子育て支援センターの職員が、ファシリテーターを務めます。

施設内の
にじいろ広場
での託児は、ほ
ぼマンツーマン
の手厚さです。



第4回ノーバディズ・パーフェクト

テーマ：しつけについて

- ①あいさつ・前回の振り返り
- ②アイスブレイク（他己紹介）
- ③＜主部＞しつけについて
（グループトーク）
休憩
- ④テキストを見る
- ⑤絵本読み聞かせ「ちょっとだけ」

- ①あいさつ（一言、近況を）
・三連休で、旅行に出かけた。
年の違ういとこたちからよい影響を受けた。
・子どもが飛行機の初体験をした。
・夏休みが始まり、一日3食を
どうしようか新たな悩みが。
・子どもが他の子と一緒に遊ぶ姿を見た。成長！ 等々

- ③グループトーク テーマ：しつけについて
「どんな子に育てたいか・子どもの行動で困ること・どうしてそうなるのか・子どもの気持ちは・そうならないためにどうしたらよいか」
各々の考えをまとめた後、交流。
先輩ママからの「うちもそうだよ、〇才くらいになればわかるよ」の言葉に、場が和みます。

- 子育て学習会（NP）のルール
- あいさつをする
 - 守秘義務を守る
 - 携帯電話はマナーモードにする
 - かしこまって話さない
（気楽に話しましょう）
 - 託児の方と子どもにありがとうをいう

- ②アイスブレイク（他己紹介）
独身の頃の職業・旦那様との出会い・結婚何年目か・子どもの名前の由来・隣の方の年齢、の5つについて交流。子どもの名前について盛り上がりました。



休憩をはさみ、支援センター職員のリードで④⑤をおこない、全2時間の学習会が終了します。

ママ達の、興味関心のあるものから話し合いのテーマが決まり、交流する中で、子育てのヒントが見つけれられる学習会

- ・いつも利用している支援センターの方から、この学習会を教えてくださいました。皆さんといろいろ共有したいと思ひます。
- ・自分達で交流できるところに魅力を感じました。
- ・チラシをいただき、この学習会のことを知りました。参加して本当によかったと思ひます。
- ・思っていたより、うんと楽しい。話を聞いてもらえるというのがいいな。すっきりして帰って行けます。
- ・この学習会は、大切な一人時間。引越して来てママ友がいなかったが、知り合いができました。＜参加者より＞



講演会型 + 体験活動参加型+子育てサロン型 ～家族の大切さ～

八百津町 ちびっこ広場

～子育て講演会・親子リトミック～

八百津の町内 4 園の年長児
と保護者が集まります！

「ちびっこ広場」とは…

昭和59年から続く八百津町の子育てに関する最大事業。目的は『八百津町の子ども達が皆等しく良い環境の中で心豊かに育つ』こと。親子が集まり共に学び、子どもと育ちあう、を目標にしている。

コロナ禍を経て令和5年度から、新たな形で復活。町内の子ども達や、同じ年齢のこどもを持つ保護者が小学校入学前に交流をもてるような行事を企画開催している。

《主催》八百津町保育研究会 《共催》町内保育園保護者会 八百津町教育委員会

開催日時：令和7年6月24日（火） 10時～12時

場 所：八百津町ファミリーセンター 講義室

参 加 者：保護者45名 園児43名

会の運営は、全て4つの保育園（八百津・和知・錦津・久田見）の保護者会長さんが務められました。保護者が講話を聴いている間、園児は、『ちびっこの集い』『リズム遊び』を楽しみました。

会のはじめに教育長さんからご挨拶をいただきました。

子育て講演会

「子どものひとり立ちを促す子育てをしよう！」

～ありたい子どもの未来の姿・必要な資質や力は・大人のあり方～

講師 子どものひとり立ち応援アドバイザー 近藤 聡 氏



＜4人グループで話し合いスタート＞

「わが子の一番、大好きなところは、どんなところですか？」

思い切り身振り手振りで、笑顔で、エネルギーを使って交流。

子どもをよさで見る、よさを活かす、伸ばす。→子どもの自己肯定感のアップのもとになる。→アップ・ダウンは親次第。

0：幼少期の育ちの中でどうしても外せないこと

愛着形成…特定の人と結ぶ情緒的な絆（こころのつながり）

こどもの成長は、愛着形成があってこそ！足りてないと思ったら今からでも・・・



- 1：子どもの未来を描く 「今、何をすべきか？」を考え続け、少しでも理想に近づきたい
- 2：幼少期の子どもの育ちに必要なもの・こと ～園でも、家庭でも～ やりたいことに夢中になって遊ぶ→夢中になって遊び・体験する中で→非認知能力を育てる
- 3：子どもの非認知能力を育てるために大人が心がけたいこと ～大人の意識改革～



講演会方式を基本に、グループ交流や応答、先生の実践例紹介も交え、笑い声やうなずき、時折、歓声も上がる、とても有意義な時間を共有されました。町内の年長児をもつ親同士、そして子ども同士もつながることのできる事業がこれからも長く継続されますように！

リズム遊びと親子リトミックの講師を町内の小学校（久田見小）の先生が務められました。



園児は、お友達の数が増えて大喜び。先生の指示を聞いて、きびきび動き、反応し、リズム遊びを大いに楽しんでいました。

＜参加者の感想より＞

- ・子どもの興味を大人の解釈や経験で小さくしないように気をつけていきたいと思った。子どもの心が豊かになるような経験を家族で作っていききたいと思った。
- ・子どものやりたいことをさせてあげる、「止めない気持ち」をもつことで子どもの可能性は広がっていき将来にもつながることを学ばせていただいた。沢山愛情を注いでいきたいと思う。
- ・子どもをまるごと受け止めることが大切だと感じた。
- ・自身が子育てにおいて一番悩んでいることについて話が聞けたので、とても為になった。

学校行事参加型 + 体験活動参加型 ～命・家族の大切さ～

白川町立黒川小学校

～救急救命講習会・多文化交流クッキング～

開催日時：令和7年7月2日（水）10時～13時半

場所：黒川小学校 会議室・調理室

参加者：延べ 約30名

※この日は、家庭教育学級が2講座行われました。紙面では、2つ

目の活動「多文化交流クッキング」の様子を紹介します。

講師：ウンセンさん（タイ出身・企業の研修生として来られた方）

通訳補助：同じ会社にお勤めの、本校の保護者さん



タイ料理
「カオマンガイ」に挑戦！



<学級長さんより>

白川町内（黒川地区にも）には、近年、企業への労働移住者が増えています。その方々の中には、いずれ、保育園や小・中学校の保護者になれる方もみえます。地元の方、日本人の移住者、外国からの労働者、皆が繋がれば、一層豊かで住みやすい地区になるのではないのでしょうか。互いの文化を、食を通して交流し、理解し合うきっかけにしたい、そんな思いからこの講座を計画しました。

カオマンガイは、タイ語で「カオ（ごはん）・マン（油）・ガイ（鶏肉）」とよばれる、タイで最もポピュラーなごはん料理です。チキンスープで炊いたご飯に、鶏肉をのせて、アクセントに生姜のきいた甘辛いたれをつけていただきます。



講師紹介・内容説明



ソースで使う調味料の紹介



調味料の味見をします



教頭先生が
ソース作りのお手
伝いで大奮闘！

ちょっと辛いけど
おいしいね！

カオマンガイの作り方

- 1 フライパンに油を入れ、切った生姜とニンニクを加え、香りが強く出るまで炒める。
- 2 お米を入れ、5分くらい炒める。
- 3 鶏肉のゆで汁と炒めたお米を炊飯器に入れて炊く。
～鶏肉の茹で方～
- 1 鍋に水、生姜、ニンニク、パクチーの根、塩、調味料を入れて、火にかける。
- 2 鶏肉を入れて強火で煮る。沸騰したら、火を弱め、1時間程煮る。煮た鶏肉を冷水で少し洗う。
- 3 お皿にご飯を盛り、切った鶏肉とパクチーをご飯の上にのせキュウリを飾る。

資料より抜粋

ソース（タレ）の作り方

- 1 タオチオ 大さじ5
 - 2 お酢 大さじ5
 - 3 砂糖 大さじ3
 - 4 ブラックソイソース 大さじ3
 - 5 ソイソース 大さじ3
 - 6 化学調味料 大さじ1
 - 7 ニンニクのピクルス 大さじ5
 - 8 パクチーの根 1本
 - 9 生姜（みじん切り） 10個
 - 10 ニンニク（みじん切り） 5個
- 全ての材料をミキサーで混ぜ合わせる。お好みで味を調整する。

<参加者アンケートより>

- ・普段味わえない多文化の料理を体験させてもらい、「この味食べられるな、是非、チャレンジしたい!」と思いました。
- ・辛かったけど、とっても美味しかった。あんなにたくさんの調味料が入っていて、びっくりしました。この味、はまりそうです。
- ・普段家では作らないものですが、美味しかった、楽しかった。タイの本場の味が味わえて、貴重な体験でした。
- ・海外の料理を食べる機会はなかなかないので、このような交流は good!
- ・お肉が柔らかくてとても美味しかった。家でも作ってみたいです。

※黒川小学校の学級長さんも、移住者のお一人とのこと。地域に溶け込みはつらつと学級を運営しておられました。

可児市乳幼児学級（帷子クラス）

～絵本読み聞かせ～

子ども達に豊かな感性を育むために「本に親しむ」「本に触れる」ことはとても大切です。物心ついた時（つく前から）絵本を読み聞かせることは、子どもの集中力や創造力を伸ばし、生涯を通じて本を好きになる大きなきっかけとなります。聞くもの見るもの全てに興味・関心をいなく頃の読み聞かせの大切さを、是非、保護者の方に知っていただきたい。（学級の目的）

開催日時：令和7年7月23日（水）10時～11時30分

場所：帷子地区センター 和室

参加者：保護者17名 20名 兄弟姉妹3名

可児市の乳幼児学級は、昨年度まで、各地区で1学級ずつ開催されており、全体としては、10を超える学級があったようです。より活動が充実するよう、今年度からは、複数の地区が集まり、全体としては5学級が開催されるとのこと。年度始めは、市の担当者が主体で、後半は、学級生が講座を考えたり、司会をしたりと、活躍の場を広げていかれるそうです。

<プログラム>

- 始めの言葉
- サポーターさん紹介
- 体操
- お誕生会
- 絵本の読み聞かせ
- サロンタイム



<参加者より>

- ・チラシをいただきました。それを見て自分で応募しました。
- ・センターの中に掲示してあるポスターを見て参加しました。
- ・子どもに友達ができるので、乳幼児学級に参加するようにしています。
- ・上の子の時から参加しています。楽しいです！
- ・いろいろな子と関われるのが魅力です。
- ・サポーターさんがいて下さるので、安心して子どもを預けられます。

開級式で作成したアンパンマンのメダル。（左）お誕生日月の子は、受付でメダルの裏面に自分の手形を押します。このメダルが今日のプレゼントになります。



「だるまさんがころんだ」「ぼうしをとったら」「ぺんぎんさんたいそう」「紙しばいぼんぼこぼん」の4冊を読み聞かせてくださいました。途中で、手遊びなどが入り、とても楽しい時間となりました。



子ども達は、読み聞かせの最後に、折り紙の作品をお土産にいただきました。うれしそうに大切に、手の平に乗せています。この後、お母さん達は、三つのグループに分かれサロン会です。皆で意見を出しながら、今後の活動について相談されました。



市登録の子育てサポーターさんによる託児座に皆さん、安心して講

新しい枠組みでスタートした初年度ということもあり、市の子育て支援課がリーダーシップを発揮しつつ参加者にも学級の運営に参画していただきたいという願いをもって取り組んでおられました。地区センター内にある可児市図書館帷子分館の司書さんが読み聞かせを行ってくださり、会の終わりには、分館主催の読み聞かせの紹介もありました。お母さん達や子ども達に楽しんでもらえる学級になるよう、他機関との連携を推進しておられます。<取材より>